

(学校用)

様式 A-1

平成 28 年 7 月 20 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 和歌山信愛高等学校 佐藤佳子
2. 講師氏名: Dr. Marie Capron
3. 同行者氏名: 山本浩之 先生(受入研究者)
4. 実施日時: 平成 28 年 7 月 20 日 (水) 15:00~16:45
5. 参加生徒:  1年生 45人、 2年生 55人、 \_\_\_年生 \_\_\_人 (合計 100人)  
備考: (例:理数科の生徒)
6. 講演題目: (英文)Science dialogue program, Japan Society for Promoting Science  
(和文)
7. 講演概要:  
フランスの教育制度について、どうして研究者になったのか、針葉樹・広葉樹の植物の細胞構造の違いについて
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間  80 分 質疑応答時間  20 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
 プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
 同行者による通訳、適宜日本語による説明がありました。
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
\_\_\_\_\_
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金
11. その他特筆すべき事項: